

## 第 8 回経営諮問委員会の議事概要について

平成 22 年 1 月 25 日に第 8 回経営諮問委員会を開催した。議事の概要は以下のとおり。

### 1. 諮問事項

Sea-NACCS におけるコンテナヤード搬出入業務等の事業化について

センターが新規事業として検討している「Sea-NACCS におけるコンテナヤード搬出入業務等」について、事業化の経緯、関係業界への説明状況及び事業化における損益推計について説明を行い、事業化の是非について審議いただいた。委員からは、いくつかのご質問、ご意見があったが、事業化について反対の表明はなく、経営諮問委員会の了承を得た。

なお、委員からの主なご意見・ご質問及びセンターの回答は以下のとおり。

大手邦船社はこの新サービスを利用する意向を示しているとのことだが、現場と本体では多少事情が異なると思われる。現場は新サービスによりこれまでの業務が効率化されることから利用を望んでいるが、本体は自社システムの改修コストも考慮しなければならず、他の利用者の参加状況が少なく、費用対効果でつりあわなければ参加しないこともあり得るというスタンス。

また、センターには、NACCS 業務にコンテナヤード搬出入業務を新たに追加するだけでなく、その運用ルールもリーダーシップを取って取りまとめてもらいたいというのが船会社の実態的なスタンスである。

コンテナヤード搬出入業務等の運用は実際には早くも平成 23 年度中であり、また、初期投資として莫大な費用が必要なものではないと聞いている。また、利用料金についても、現在のコンテナ取扱量を考慮すると月額でそれほど大きな金額にはならないと考えている。

コンテナヤード搬出入業務等を NACCS 業務に追加することについては、国土交通省も期待していると聞いている。多くの方に利用いただけるような料金設定を検討願いたい。

ありがたいお話で、センターとしても利用者の拡大に向けて努力していきたい。

東京港を利用している船社（外船を含む。）はどのくらいあるのか。

船社数は中小が中心で相当数あるが、貨物取扱量で見ると、邦船 3 社で約半数を占めている。大手外船社数社を含めると、約 8~9 割に達する状況である。

この新サービスは「総合物流プラットフォーム」のまさに重要なところと考えるので、是非進めていただきたい。

## 2. 報告事項

### (1) 平成 23 年度職員の採用募集について

平成 23 年度新規採用職員の募集概要について報告を行った。

### (2) Air-NACCS 更改等に伴う「システム利用規程」の一部改正について

Air-NACCS 更改等に伴う「システム利用規程」の一部改正について、その概要を報告した。

### (3) 平成 22 年度予算政府案について

平成 22 年度予算政府案の概要について報告し、今後政府案を基本として民間経費分等を調整し、平成 22 年度収支計画を作成することとなる旨説明した。

### (4) 次期 Air-NACCS の総合運転試験について

次期 Air-NACCS は平成 22 年 2 月 21 日に稼働を予定しており、稼働開始前の最終確認試験である総合運転試験を 11 月 30 日から 2 月 19 日までの予定で実施している旨報告を行った。

### (5) 次期 NACCS、港湾サブ・システムにおけるプログラム変更等について

次期 NACCS 及び府省共通ポータル等並びに港湾サブ・システムにおけるプログラム変更内容について報告を行った。

### (6) 平成 21 年度秋季 NACCS 地区協議会議事概要について

平成 21 年 10 月から 11 月にかけて、全国 15 地区（航空 4 地区、海上 11 地区）において開催された NACCS 地区協議会について、その概要を報告した。

### (7) 総合点検の実施結果について

システムの安定的な運営を図るため、昨年 9 月に実施したセンター設備（ソフト、ハード）保守及び業務処理の体制・状況等に係る総合点検の結果について報告を行った。

### (8) 平成 21 年度年未年始対策の実施結果について

年未年始の繁忙期におけるシステム対応のため実施した、平成 21 年度年未年始対策の結果について報告を行った。

### (9) NACCS の主要業務指標について

平成 21 年 12 月までの NACCS の稼働状況及び契約者数の推移について報告を行った。

## 3. 意見開陳・情報提供

鈴木委員より、世界の食肉問題についての情報提供があった。

(以上)